

令和6年度第2回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会 会議結果概要

開催日時	令和7年(2025年)3月27日(木)12時30分から13時30分
開催場所	第3分庁舎 講堂
出席者	〔委員〕 ○7名出席(欠席者3名) 〔事務局〕 ○5名出席 以上12名出席 「鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会 委員名簿」を参照 〔傍聴者〕 なし
配布資料	【配付資料】 ・資料1 鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会委員名簿 ・資料2 令和6年度第1回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会会議結果概要(案) ・資料3-1 障害者差別解消法の周知啓発に向けた取組まとめ ・資料3-2 障害者差別解消法の周知啓発に向けた取組に係る資料(4種) ・資料4-1 小中学生向け障害者差別解消啓発チラシ(案1) ・資料4-2 小中学生向け障害者差別解消啓発チラシ(案2)
会議概要	1 開会 協議会の趣旨及び運営について次のとおり説明。 (1) 差別を解消するための取組を効果的かつ円滑に行うために、本協議会を開催する。 (2) 「鎌倉市審議会等に関する指針」に基づき、会議は原則公開となるが、個人情報を含む審議、意見交換、懇談等を行うときは、非公開とする。今回の協議会で扱う内容については、個人情報を含む内容がないため、公開とする。 (3) 令和6年度第1回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会会議結果概要について、この場で内容の確認をし、後日市HPでの公開を予定している。 2 議題 (1) 鎌倉市の取組について(報告) 資料3-1及び3-2に基づいて次のとおり報告。 ア 衛生時報12月号に精神障害の家族会執筆の記事を掲載。 イ 後ほど協議するが、本協議会にて、子ども向け障害者差別解消啓発チラシの作成作業実施。 ウ 係長級職員向けに、弁護士を講師に招き障害者差別解消法の研修を実施。

会議概要 (続き)	エ 11月に精神保健福祉講演会を実施。申込開始早々に定員に達し、盛況であった。 オ 3月に鎌倉市地域生活支援拠点等整備事業をテーマとした市民向け講演会を実施。当日参加もあり、定員に達する程盛況であった。 カ 来年度以降も引き続き刊行物への記事掲載や講演会、職員向け研修を通じて障害者理解啓発に取り組んでいく。 【委員からの主な意見、質問等】 (委員) 職員向け研修の講師について、障害者差別の分野に強い方だったのか。 (事務局) ご自身も視覚障害があり、障害者差別の分野に強い方。 (委員) 講演会等を実施する際に、手話通訳や資料の点訳といった合理的配慮が必要だと思うが、これには費用がかかる。障害当事者が市に手話通訳者派遣を依頼できるのか。 (事務局) 市には手話通訳者派遣制度があるので、都度ご相談いただければと思う。 (2) 障害者差別解消啓発チラシについて(協議) 前回協議会以降に委員からいただいた意見を反映したチラシ案を2つ提示(資料4-1及び4-2)し、最終的なチラシデザインについて協議。なお、活用方法としては、市内小中学校全生徒に配付するとともに、授業での活用を依頼する予定。チラシ案2つの特徴は次のとおり。 <u>資料4-1及び資料4-2に共通する点</u> ・「障害」と区別するのではなく「個性」として捉えてもらえるよう、「障害」という言葉を使わないようにした。 ・小中学校生が身近に感じられるような事例にした。 ・小学校高学年では読みづらい漢字にルビをふった。 ・識字障害のある方に向けた工夫が必要との意見があり、文字が読みやすくなるよう、行の境目が分かりやすいようにした。 <u>資料4-1の特徴</u> ・行間に線を引くことで、行の境目をわかりやすくしている。 ・文字フォントがUD丸ゴシック。 ・縦書きを基本としている。 <u>資料4-2の特徴</u> ・識字障害のある方に向けた工夫をより多く盛り込んでいる。 ・奇数行にマーカーを引くことで行の境目をわかりやすくしている。 ・文字フォントがUDデジタル教科書体。 ・横書き。
----------------------	---

会議概要 (続き)	【委員からの主な意見、質問等】 (委員) ふりがなについて、誰かが監修しているのか。 (事務局) 文部科学省が示している、小学生が学年別に学習する漢字一覧を確認している。 (委員) 資料4-2のフォントの方が優しい感じがして子ども向けだと感じる。全部同じフォントにせず、資料4-2のフォントを基本としつつ、真ん中の「ちょっとした心づかいを、『うれしい』と思う人がいます。」という部分は、目に入りやすく訴えかける印象である資料4-1のゴシックフォントとするのはどうか。 (委員) 「心づかい」をもっとわかりやすい言葉にできないか。 (事務局) 最初は「配慮」だったところを「心づかい」とした。おっしゃるとおり、もっと簡単な言葉がないか悩んでいるところ。 (委員) 「配慮」よりは平易でよくなっているように感じる。よりよい言葉がすぐには思いつかない。 (委員) ヘルプマークの説明部分も資料4-1のゴシックフォントとしつつ、もう少し大きくするとよいと思う。 (委員) QR コードをつけて、ヘルプマークのことをより詳しく説明しているページにリンクするようにしてもよさそう。 (委員) まとめると、資料4-2をベースとするが、行の境目は資料4-1の方の行間に線を引くものとし、真ん中の読み手に呼びかける文章及びヘルプマークの部分だけ資料4-1のゴシックフォントとする。更にヘルプマークの部分には QR コードをつける、ということではいか。 (委員) 事例のうち、チック症状のことを示していると思われるものがあるが、もう少しわかりやすい例がないか。要するに、意図せずに体が動いてしまうということを表現したいのだと思うが、表現がとても難しい。 (委員) 具体的な症状例を示さずに、「体が勝手に動く」としてはどうか。 (委員) ここは事務局の方で検討していただきたい。 (委員) 発行元を記載した方がよいと思うがどうか。 (事務局)
----------------------	---

会議概要 (続き)	発行元の記載は必要だと思う。協議会の名前等を下部に記載するようにする。 (事務局) 後日、本日も協議いただいた結果を反映させたチラシを委員の皆様に共有するので、 ご確認いただきたい。 3 その他 委員の任期満了に伴い、障害福祉課長から挨拶。 (会長) 令和6年度第2回鎌倉市障害者差別解消支援地域協議会を終了する。 以上
----------------------	---